

（略）

活動は活潑に行はれた。

しかし、幹事会の組織和運営は大いに活水た。

各団体の統制が不十分であった。

3. 法廷運動員は特に組織をいたずら共同委員会の統制の下に活動した。

共同委員会は幹事会に活動させられた。

希士國、宣傳隊、秘密部隊、傳諭隊の組織的活動はどうか？

7. 共同はヨーロッパ、A、B、C、Dの四班で別々に会合を行つて共同委員会が統制の下で活動した。

8. 常正演説会等大抵の批判はなされた。

2. 宣傳隊なる組織ある組織はないが、農村工作運動員は既に組織化され、共同委員会、青年同盟員等による事実上の宣傳隊（明確な組織化は）、統制の下に本格化され、宣傳隊は既に組織化され、共同委員会、青年同盟員等による事実上の宣傳隊（明確な組織化は）、統制の下に本格化され、宣傳隊は既に組織化され、共同委員会、青年同盟員等による事実上の宣傳隊（明確な組織化は）、

3. 紀空隊の組織あり、但宣傳隊が一括兼ねた。

4. 不動産（篠田新）領主屋（六田新）は青年同盟員、日西辰組合員は、紀空隊を組織して宣傳、遊説などを組織的にやった。

5. 持下連絡隊の組織なし。

6. 政見發表演説会機関員は十人余りで、行動したがつた。

7. 従業員は取締り行為、全然行はれず。

2. 長町、須佐屋等がどうぞ教りた。

3. 東一館では芳典新、新庄者新角を賣つた。

4. 時に熱心なる陳述会派（社保）は思想を叩いた（赤堀）。

八

1. 政見發表演説会機関員は十人余りで、行動したがつた。

2. 従業員は取締り行為、全然行はれず。

3. 長町、須佐屋等がどうぞ教りた。

4. 東一館では芳典新、新庄者新角を賣つた。

5. 時に熱心なる陳述会派（社保）は思想を叩いた（赤堀）。

1. 常勤者、農民、小市民、青年婦人に對て如何に働きかけたか？
2. 農務省二科、一般労働者組合と連名で産業別アジダラをつく。
3. 工場労働者 五回 一五〇人
4. 銀道從業員 一回 一〇〇人
5. 市場從業員 二回 一九〇人
6. 商標局從業員 一回 一〇〇人
7. 農民に対する日農組合連名で「ニーベル」（100つ（セカオード））
8. 借家主に対する借家人同盟連名で「ニーベル」（100つ（セカオード））
9. 青年に対する青年同盟連名
10. 一般二種 五百〇人
11. 工場青年二種 三〇〇人
12. 農林青年一種 一〇〇人
- 外二 丸文ヨリ半身 同體上級者十選「農業が面白」ビラ
5. 婦人労働者同盟連名
6. 工場婦人三種 五百〇人
7. 農林婦人二種 五百〇人
8. 一般二種 五百〇人
9. 政見發表演説会派（社保）
10. 共同委員会（幹事会）